



DC - 320
【PCモード説明書】

Version 1.0
'06/02/23

株式会社タニタ
MD事業部

1 概要

この説明書は、「DC - 320」を、パーソナルコンピュータ（以下：パソコン）等の外部機器から制御するためのコマンドについて説明するものです。測定結果の出力信号に関しては、5.3「出力データ一覧」を参照ください。

2 通信仕様

通信規格 : E I A R S - 2 3 2 C 準拠
通信方式 : 調歩同期式
信号速度 : 9 6 0 0 ボー
データビット長 : 8 ビット
パリティ : なし (NONE)
ストップビット : 1 ビット
フロー制御 : なし
ターミネータ : C R + L F

3 接続準備

パソコンと接続

DC - 320 本体背面に、標準で USB コネクタ : B タイプ・4 ピン (メス) が付いています。ただし、オプションとして USB コネクタから RS-232C コネクタへ変更することができます (USB か RS-232C のどちらかの選択となります)。ご購入時に選択した通信ポートに合わせたケーブルで接続してください。

[ケーブルの種類]

USB : A タイプ 4 ピン (オス) - B タイプ 4 ピン (メス)
1.1、2.0 規格どちらでも可。
RS - 232C : ストレート D サブ 9 ピン (オス) - D サブ 9 ピン (メス)
(推奨ケーブル アーベル社製 型番 AR34)



USBポートより通信する場合は、パソコンへUSBドライバをインストールする必要があります。付属の専用CD-ROM取扱説明書の「USBドライバのインストール」を参照してください。

パソコン側で通信の設定

信号速度9600ボー、データビット長8ビット、パリティなし、ストップビット1ビットで設定してください。

4 PCモード概要

4.1 動作状態について

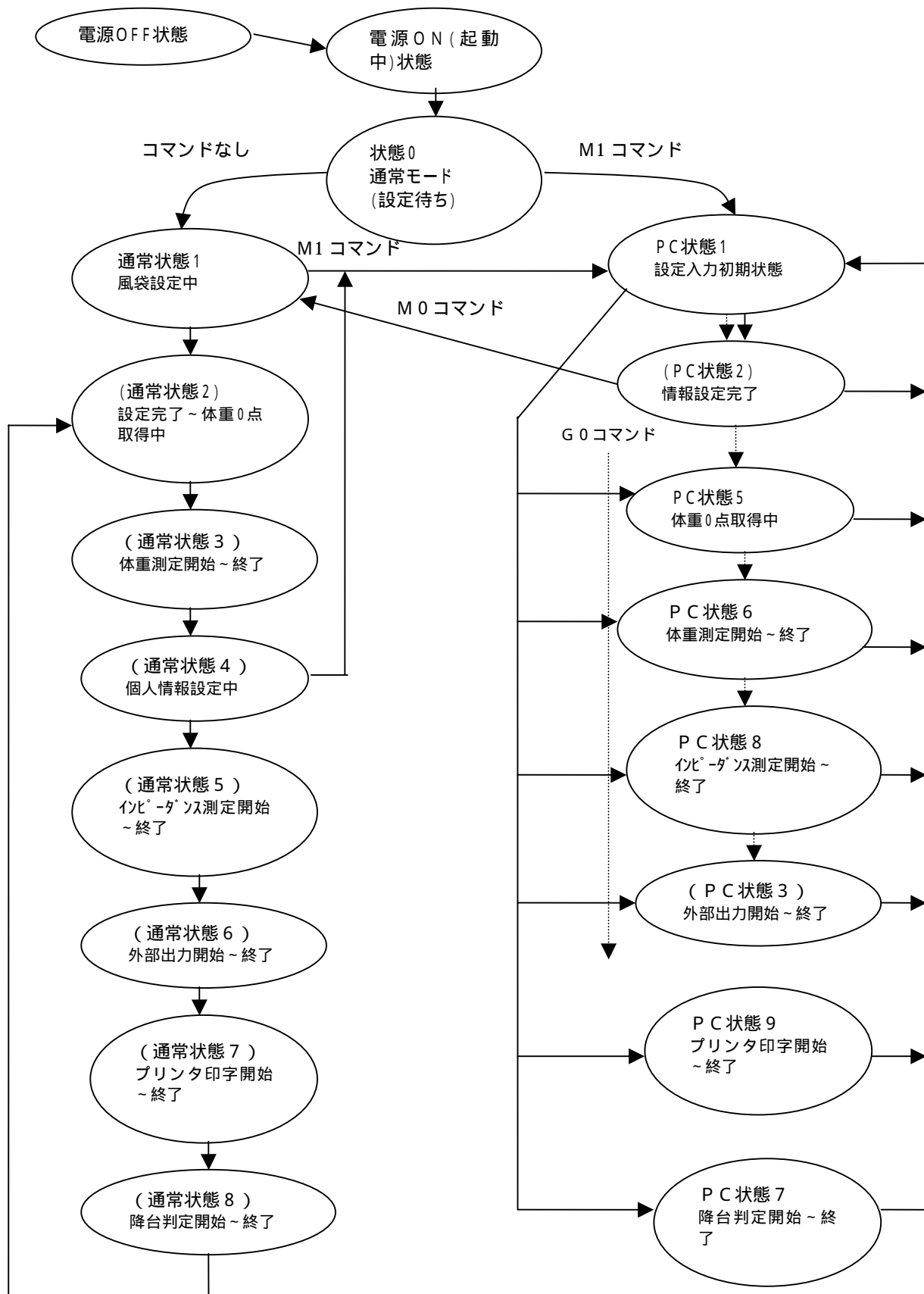
「DC - 320」には、以下の9つの動作状態があります。

状態0	非PCモード状態（通常通り電源を入れて操作している状態）
PC状態1	PCモード/設定待ち状態
PC状態2	PCモード/設定完了状態
PC状態5	PCモード/ゼロ点取り込み状態（ゼロ点取り込み完了まで続く）
PC状態6	PCモード/体重測定中
PC状態8	PCモード/インピーダンス測定中
PC状態3	PCモード/結果出力中
PC状態9	PCモード/プリンタ印字中
PC状態7	PCモード/結果表示（被測定者が測定台を降りるまで続く）

各状態によって受け付けるコマンドと受け付けないコマンドがあります。

電源ON後は、自動的に状態0（非PCモード）になります。PCモードにするために、パソコン側からモード切り替えコマンド（M1）を送ってください。

4.2 状態遷移図



5 通信コマンド

5.1 コマンド一覧

コマンド名	コマンド文字列 (X は任意の数字)							
		状態 0	PC 状態 1	PC 状態 5	PC 状態 6	PC 状態 8	PC 状態 9	PC 状態 7
モード切替	MX							
状態問い合わせ	S?							
仕様確認	s?							
設定確認	D?							
風袋量設定	D0XXX.X							
性別設定	D1X							
体型設定	D2X							
身長設定	D3XXX.X							
年齢設定	D4XX							
I D 設定	D5"XXXXXXXXXXXX"							
キャンセル	q							
体重測定	F0							
インピーダンス測定(50kHz)	F5							
インピーダンス測定(6.25kHz)	F6							
降台判定	F2							
演算・出力要求	FC							
L C D 表示有無	FX							
測定一括 (インピーダンス測定)	G0							
時刻設定要求	T0"XX:XX"							
年月日設定要求	T2"XX/XX/XX"							
プリンタ状態確認	P?							
プリントアウト	P1							
プリンタ印字詳細の状態	B?							
プリント印字	B0XXXXXXXXXXXXXX							
ブザー	ZX							

注) プリンタ印字中は全てのコマンドを無視します。

5.2 コマンド詳細

書式

コマンドは文字列 + (CR+LF)の形を一電文として解釈されます。
デリミタ(ターミネータ)はCR+LF(0X0D,0X0A)です。以降のコマンド説明ではターミネータ(デリミタ)は省いて表記します。

不正コマンド

以降に説明されるコマンド以外の電文は全て不正コマンドと見なして処理されます。
不正コマンド受信時には"!"が応答として返信されます。
また、コマンドのパラメータが不正で正しく解釈できなかった場合も同様に処理されます。

エラーステータス

通常のコマンドの応答として、又は応答とは無関係にエラーが発生したことを伝える電文が送信される場合があります。以下は電文一覧とその意味です。

E0	内部通信異常
E1	体重計のオーバーロード
E2	インピーダンス測定エラー
E3	体重計ゼロ点の異常
E4	設定項目が未入力のまま、測定開始コマンドが送られた
E5	体重計ゼロ点の未調整
E6	設定データのパラメータが異常
E7	脂肪率エラー

注意事項

1. 通常モード及びPCモードにおいて、体重及びインピーダンス等の測定中は、ホスト側からの新たなコマンド送信は回避すること(測定誤動作の原因回避、またPCモードへの切替(M1コマンド)含む)。
2. DC-320側から送信データを出力している間は、ホスト側からコマンドを送信しない(測定誤動作の原因回避のため。またPCモードまたは通常モードへの切替コマンドも含む)。
3. ホスト側からのコマンド間は100ms以上の空白期間を設けること。
4. ホスト側からのコマンドのキャラクタ間は、250ms以上の空白期間を設けないこと。
5. 無効なコマンドに回答するレスポンスは、“!”とする(データ長エラーは“#”)。
6. 風袋量を設定し測定をした場合、測定結果がDC-320に残っている状態であれば、状態1であっても、風袋量の変更は受け付けません。M1コマンドを送信し、内部データをクリアしてから設定を行ってください。

[1] キャンセルコマンド

書式 q
説明 測定を中止して状態 1 に戻ります。設定されているデータは、保持されます。

書式例	q	測定を中止する
応答電文	@	測定中止の直前に受信確認を送る。
	#	応答不可

[2] モード切替コマンド

書式 M(X)
説明 モードを切り替えます。X は 0 : 非 P C モード、1 : P C モードを指定します。

書式例	M1	P C モードにする。
	M0	通常モードにする。
応答電文	@	モード切り替えの直前に受信確認を送る。
	#	受付不可

[3] 状態問い合わせコマンド

書式 S?
説明 現在の P C モードの状態を問い合わせます。
現在の状態に応じて以下の電文が返信されます。

S0	状態 0 (非 P C モード)
S1	PC 状態 1 (設定未完了)
S5	PC 状態 5 (測定開始、ゼロ点取り込み中)
S6	PC 状態 6 (体重測定中)
S8	PC 状態 8 (インピーダンス測定中)
S9	PC 状態 9 (プリンタ使用中)
S7	PC 状態 7 (結果表示、被測定者の測定台からの降り待ち)

書式例	S?	状態確認
応答電文	S1	設定未完了状態
	#	受付不可

[4] 設定確認コマンド

書式 D?

説明 測定開始前に設定されたデータの確認をします。
返信電文は以下の項目がコマで区切られて送信されます。

項目	応答
風袋量	D0,Pt,XX.X (XX.X は可変長 3~4 バイト)
性別	D1,GE,X (X は 1 : 男性、2 : 女性)
体型	D2,Bt,X (X は 0 : スタグ-ト、 2 : アソルト)
身長	D3,Hm,XXX.X (XXX.X は可変長 4~5 バイト)
年齢	D4,AG,XX (XX は可変長 1~2 バイト)
I D	D5,ID,"XXXXXXXXXX" (XXXXXXXXXX は固定長 10 バイト)

書式例	D?	設定確認
応答電文	D0,Pt,1.5,D1,GE,1,D2,Bt,0,D3,Hm,175.4,D4,AG,30, D5,ID,"0123456789"	設定済み
	D0,Pt,00.0,D1,GE,0,D2,Bt,0,D3,Hm,000.0,D4,AG,00, D5,ID,"0000000000"	未設定
	#	受付不可

[5] 風袋量設定コマンド

書式 D0XX.X

応答 D0,Pt,XX.X

説明 風袋量を設定します。書式の XX.X は固定長 4 バイトの文字列で整数部 2 バイト、小数点、小数部 1 バイトからなります。整数部が 2 桁に満たないときはその部分を 0 で埋めます。入力範囲は 0.0 ~ 10.0kg です。未入力時は 0.0kg に設定されています。応答の XX.X は可変長 3 ~ 4 バイトの文字列で整数部 1 ~ 2 バイト、小数点、小数部 1 バイトからなります。風袋量を設定し測定をした場合、測定結果が DC - 3 2 0 に残っている状態であれば、状態 1 であっても、風袋量の変更は受け付けません。M1 コマンドを送信し、内部データをクリアしてから設定を行ってください。

書式例	D001.0	風袋量を 1kg に設定
応答電文	D0,Pt,1.0	設定完了
	E6	パラメータが異常である

[6] 性別設定コマンド

書式 D1X

応答 D1,GE,X

説明 性別を設定します。書式の X は 1 (男性)又は 2 (女性)を指定します。応答の X は固定長 1 バイトです。

書式例	D11	性別を男性に設定
応答電文	D1,GE,1	設定完了
	E6	パラメータが異常である

[7] 体型設定コマンド

書式 D2X
応答 D2,Bt,X
説明 体型を設定します。書式の X は 0 (スタンダード) 又は 2 (アスリート) を指定します。応答の X は固定長 1 バイトです。

書式例	D20	体型をスタンダードに設定
応答電文	D2,Bt,0	設定完了
	E6	パラメータが異常である

[8] 身長設定コマンド

書式 D3XXX.X
応答 D3,Hm,XXX.X
説明 身長を設定します。書式の XXX.X は固定長 5 バイトの文字列で整数部 3 バイト小数点、小数部 1 バイトからなります。整数部が 3 桁に満たないときはその部分を 0 で埋めます。入力範囲は 90.00 ~ 249.9cm です。応答の XXX.X は可変長 4 ~ 5 バイトの文字列で整数部 2 ~ 3 バイト、小数点、小数部 1 バイトからなります。

書式例	D3171.0	身長を 171.0 c m に設定
応答電文	D3,Hm,171.0	設定完了
	E6	パラメータが異常である

[9] 年齢設定コマンド

書式 D4XX
応答 D4,AG,XX
説明 年齢を設定します。書式の XX は固定長 2 バイトです。一桁の場合は、1 0 の桁は 0 で埋めます。入力範囲は 6 ~ 9 9 才です。応答の XX は可変長 1 ~ 2 バイトです。

書式例	D437	年齢を 3 7 才に設定
応答電文	D4,AG,37	設定完了
	E6	パラメータが異常である

[10] ID 設定コマンド

書式 D5"XXXXXXXXXX"
応答 D5,ID,"XXXXXXXXXX"
説明 ID を設定します。書式、応答の XXXXXXXXXXXX は固定長 10 バイトです。入力しない上位桁は 0 で埋めます。入力範囲は 0000000000 ~ 9999999999 です。

書式例	D5"0000012345"	ID を 0000012345 に設定
応答電文	D5,ID,"0000012345"	設定完了
	E6	パラメータが異常である。

[1 1] プリンタ確認コマンド

書式 P?

説明 プリンタの状態を確認します。状態に応じて、以下の電文が返されます。

0	プリンタ正常応答
1	紙切れ
2	プラテン離脱(プリンタの蓋が閉まっていない)
3	その他のプリンタ異常

書式例 P? プリンタの確認
応答電文 P0,0 プリンタ正常応答
受付不可

[1 2] プリンタ印字コマンド

書式 P1

説明 プリンタにて結果を印字します。

書式例 P1 プリンタに印字要求
応答電文 @ 印字開始
P1,0 印字終了
P1,1 異常終了
受付不可

[1 3] プリンタ印字項目確認コマンド

書式 B?

説明 プリンタの印字項目を確認します。設定によって、以下の表の電文が返されます。

B000003FFFFFFC	プリンタ印字パターン 1
B000003FFFFB80	プリンタ印字パターン 2
B000003F006000	プリンタ印字パターン 3

書式例 B? プリンタの印字項目確認
応答電文 B000003FFFFFFC プリンタ印字パターン 1
受付不可

[1 4] プリンタ印字項目設定コマンド

書式 BXXXXXXXXXXXXXX

説明 プリンタの印字項目を設定します。

B000003FFFFFFC	プリンタ印字パターン 1
B000003FFFFB80	プリンタ印字パターン 2
B000003F006000	プリンタ印字パターン 3

書式例 B000003FFFFFFC プリンタ印字パターン 1 に設定
応答電文 @ 正常応答
受付不可

[15] 時計データ設定コマンド

書式 T0"XX:XX:XX"

説明 時計データを設定します。XX:XX:XX は時：分：秒で指定します。

書式例 T0"XX:XX:XX" 時計データを設定
応答電文 @ 設定完了
受付不可

[16] 年月日設定コマンド

書式 T2"XX/XX/XX"

説明 年月日を設定します。XX/XX/XX は年/月/日で指定します。

書式例 T2"XX/XX/XX" 年月日を設定
応答電文 @ 設定完了
受付不可

[17] LCD表示設定コマンド

書式 FX

説明 PCモード中の設定内容や結果の表示の有無を設定します。XはD(表示無し)又はE(表示有り)を指定します。

書式例 FD LCD表示無しに設定
応答電文 @ 設定完了
受付不可

[18] 機種確認コマンド

書式 s?

説明 機種の型番やその他の情報を表示します。

ヘッダ	MO
機種番号	DC-320
機種種類	固有情報
DAT	固有情報
その他の情報1	固有情報
その他の情報2	固有情報

書式例 s?
応答電文 s?,MO,"DC-320",XX,XX,XX,XX 機種情報
受付不可

[19] ブザー音発生コマンド

書式 ZX

説明 ブザー音を発生します。Xは1(ブザー音1回発生)又は2(ブザー音2回)を指定します。

書式例 Z1 ブザー音1回発生
応答電文 @ 設定完了
応答不可

[2 0] 体重測定コマンド

書式 F0
説明 体重測定を開始します。

書式例	F0	体重測定開始
応答電文	@	正常受信応答
	z0	ゼロ点取得中
	z1	ゼロ点取得
	Wn,YYY.Y	体重測定中(YYY.Y は小数点 1 桁含む 3~5 バイト)
	F0,Wk,YYY.Y	体重測定終了(YYY.Y は小数点 1 桁含む 3~5 バイト)
		正常時は ~ は連続で送信される
	#	受付不可

[2 1] インピーダンス (5 0 kHz) 測定コマンド

書式 F5
説明 5 0 kHz でインピーダンスの測定を開始します。

書式例	F5	インピーダンスの測定開始
応答電文	@	正常受信応答
	I55	50kHz 測定中 1 回目
	I54	50kHz 測定中 2 回目
	I53	50kHz 測定中 3 回目
	I52	50kHz 測定中 4 回目
	I51	50kHz 測定中 5 回目
	I50	50kHz 測定中 6 回目
	F5,RF,YYYY.Y,XF,YYY.Y	インピーダンス測定終了
		RF の YYYY.Y は小数点含む 5~6 バイト
		XF の YYY.Y は小数点含む 3~5 バイト
		正常時は ~ は連続で送信される
	#	受付不可

[2 2] インピーダンス (6 . 2 5 kHz) 測定コマンド

書式 F6
説明 6 . 2 5 kHz でインピーダンスの測定を開始します。

書式例	F6	インピーダンスの測定開始
応答電文	@	正常受信応答
	I65	6.25kHz 測定中 1 回目
	I64	6.25kHz 測定中 2 回目
	I63	6.25kHz 測定中 3 回目
	I62	6.25kHz 測定中 4 回目
	I61	6.25kHz 測定中 5 回目
	I60	6.25kHz 測定中 6 回目
	F6,UF,YYYY.Y,VF,YYY.Y	インピーダンス測定終了
		UF の YYYY.Y は小数点含む 5~6 バイト
		VF の YYY.Y は小数点含む 3~5 バイト
		正常時は ~ は連続で送信される
	#	受付不可

[2 3] 降台判定コマンド

書式 F2

説明 荷重が 2 kg 未満を判定する。ただし、前回測定データが無い場合には、受付不可を送信する。

書式例	F2	荷重 2 kg 未満を判定
応答電文	F2	測定台から降りた(荷重 2 kg 未満)
	@	測定台から降りてない(荷重 2 kg 以上)
	#	受付不可

[2 4] 演算・出力コマンド

書式 FC

説明 測定結果を演算し、出力します。

書式例	FC	演算結果出力
応答電文		"{0,16,~0,1,~1,1,~2,1,MO,"DC-320",SN,"0000000002",ID,"0000000112",DA,"06/01/30",TI,"19:59",Bt,0,GE,1,AG,56,Hm,174.0,Pt,1.5,Wk,65.6,FW,20.3,fW,13.3,MW,52.3,mW,49.6,sW,0,bW,2.7,wW,33.6,MI,22.7,Sw,63.6,OV,-5.8,IF,10,LP,106,rB,1705,rJ,10,rA,30,UF,528.3,VF,26.8,RF,471.1,XF,37.9,CS,C7" 正常終了 # 受付不可

[2 5] 一括測定コマンド

書式 G0

説明 体重、50 kHz 及び 6.25 kHz のインピーダンス測定及び演算出力を連続で実施します。

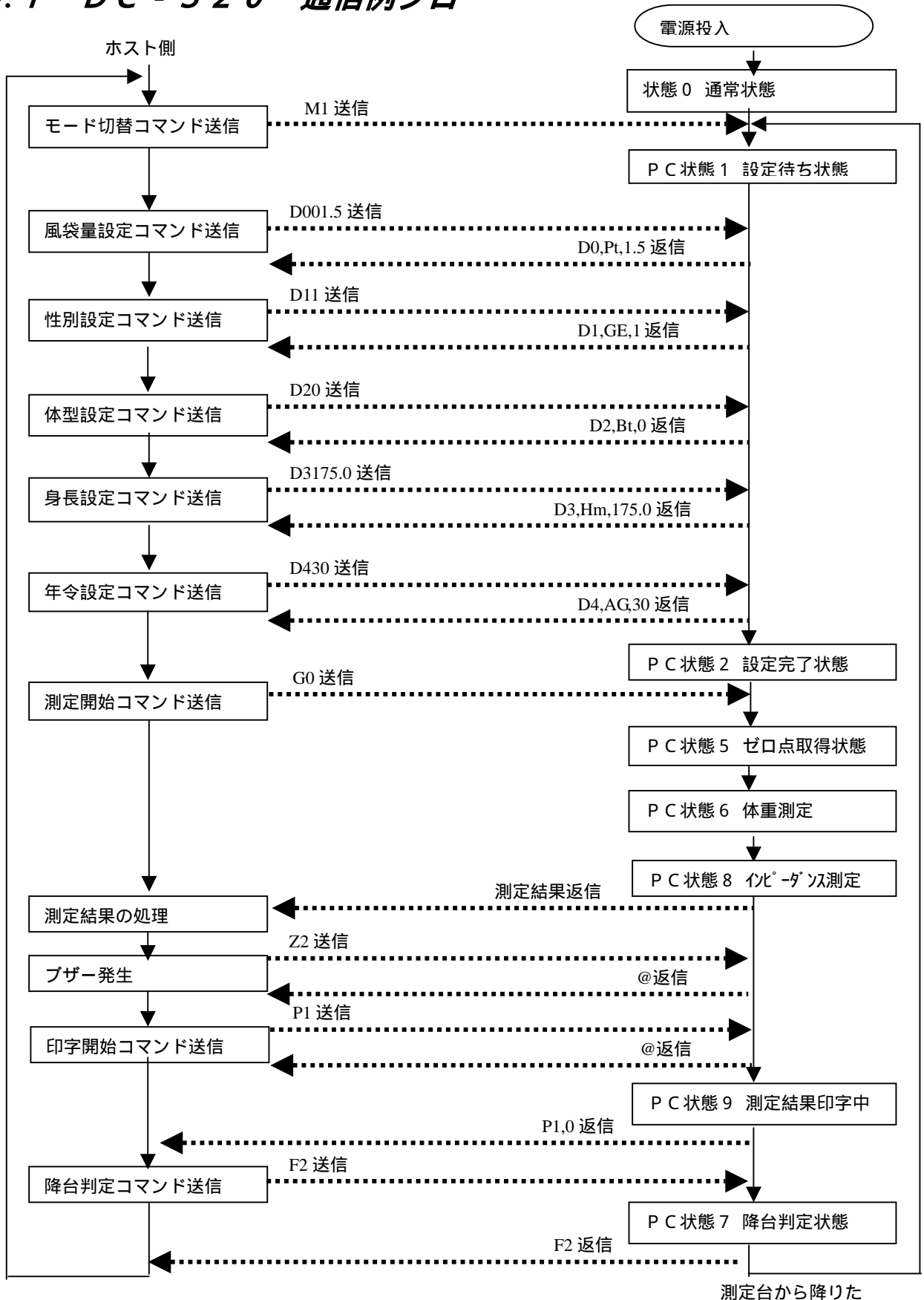
書式例	G0	一括測定開始
応答電文	@	正常応答
	#	受付不可

5.3 出力データ一覧

項目	ヘッダ	フォーマット	内容等	出力順番			
				体組成計			体重計
				スタンダード	アスリート	小児	
制御データ	{0	16 固定	2 バイト	1	1	1	1
制御データ	-0	1 固定	1 バイト	2	2	2	2
制御データ	-1	1 固定	1 バイト	3	3	3	
制御データ	-2	1 固定	1 バイト	4	4	4	
型番	MO	"DC-320"固定	8 バイト	5	5	5	3
シリアルNo.	SN	"XXXXXXXX"	8桁 10 バイト	6	6	6	4
ID番号	ID	"XXXXXXXXXX"	12 バイト	7	7	7	5
日付	DA	"yy/mm/dd"	yy:年、mm:月、dd:日 10 バイト	8	8	8	6
時間	TI	"hh:mm"	hh:時、mm:分 7 バイト	9	9	9	7
体型	Bt	0 又は 2	0:スタンダード、2:アスリート 1 バイト	10	10	10	
性別	GE	1 又は 2	1:男性、2:女性 1 バイト	11	11	11	
年令	AG	6~99	単位才、1~2 バイト(可変長)	12	12	12	
身長	Hm	XXX.X	単位 cm、小数点含む 4~5 バイト(可変長)	13	13	13	
風袋量	Pt	XX.X	単位 kg、小数点含む 3~4 バイト(可変長)	14	14	14	8
体重	Wk	XXX.X	単位 kg、小数点含む 3~5 バイト(可変長)	15	15	15	9
体脂肪率	FW	XX.X	単位%、小数点含む 3~4 バイト(可変長)	16	16	16	
体脂肪量	fW	XXX.X	単位 kg、小数点含む 3~5 バイト(可変長)	17	17	17	
除脂肪量	MW	XXX.X	単位 kg、小数点含む 3~5 バイト(可変長)	18	18	18	
筋肉量	mW	XXX.X	単位 kg、小数点含む 3~5 バイト(可変長)	19	19	19	
全身筋肉スコア	sW	1~16	単位なし、1~2 バイト(可変長)	20	20		
推定骨量	bW	XXX.X	単位 kg、小数点含む 3~5 バイト(可変長)	21	21	20	
体水分量	wW	XXX.X	単位 kg、小数点含む 3~5 バイト(可変長)	22	22	21	
BMI	MI	XX.X	単位なし、小数点含む 3~4 バイト(可変長)	23	23	22	
標準体重	Sw	XXX.X	単位 kg、小数点含む 3~5 バイト(可変長)	24			
肥満度	OV	XXX.X	単位%、小数点含む 3~5 バイト(可変長)	25			
内臓脂肪レベル	IF	1~59	単位なし、1~2 バイト(可変長)	26	24		
脚点	LP	XXX	単位点、2~3 バイト(可変長)	27	25		
基礎代謝量(kcal)	rB	XXXXX	単位 kcal、1~5 バイト(可変長)	28	26		
基礎代謝判定	rJ	1~16	単位なし、1~2 バイト(可変長)	29	27		
体内年令	rA	12~90	単位才、2 バイト	30	28		
ローレル指数	RO	XXXX.X	単位なし、小数点含む 4~6 バイト(可変長)			23	
レジスタンス (6.25kHz)	UF	XXXX.X	単位、5~6 バイト(可変長)	31	29	24	
リアクタンス (6.25kHz)	VF	XXX.X	単位、4~6 バイト(可変長)	32	30	25	
レジスタンス (50kHz)	RF	XXXX.X	単位、5~6 バイト(可変長)	33	31	26	
リアクタンス (50kHz)	XF	XXX.X	単位、4~6 バイト(可変長)	34	32	27	
チェックサム	CS	XX	単位なし、2 バイト	35	33	28	10

6 通信例

6.1 DC-320 通信例フロー



6.2 DC - 320 通信手順例

DC - 320 について、実際の送信手順を示します。

DC - 320 本体の電源を入れます。

下記手順に従って、パソコンからDC - 320へASCIIコードを送信します。

(1) 風袋量入力 (省略した場合は0.0kgで設定)

[例: 風袋量1.5kgを入力]

パソコン D 0 0 1 . 5 CR LF DC - 320

DC - 320 D 0 , P t , 1 . 5 CR LF パソコン

(2) 性別入力

[例: 男性入力]

パソコン D 1 0 CR LF DC - 320

DC - 320 D 1 , G E , 0 CR LF パソコン

(3) 体型入力

[例: スタンダードを入力]

パソコン D 2 0 CR LF DC - 320

DC - 320 D 2 , B t , 0 CR LF パソコン

(4) 身長入力

[例: 175cmを入力]

パソコン D 3 1 7 5 . 0 CR LF DC - 320

DC - 320 D 3 , H m , 1 7 5 . 0 CR LF パソコン

(5) 年齢入力

[例: 24才を入力]

パソコン D 4 2 4 CR LF DC - 320

DC - 320 D 4 , A G , 2 4 CR LF パソコン

(6) ID入力 (省略可能)

[例: "0123456789"を入力]

パソコン D 5 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 CR LF DC - 320

DC - 320 D 5 , I D , " 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 " CR LF パソコン

(7) 測定

[体重・インピーダンス測定]

パソコン DC - 3 2 0
コマンド正常受付
DC - 3 2 0 パソコン
体重計ゼロ点取得中
DC - 3 2 0 パソコン
体重計ゼロ点取得完了
DC - 3 2 0 パソコン
体重測定中
DC - 3 2 0 パソコン
体重確定
DC - 3 2 0 パソコン
インピーダンス(50kHz)測定中1回目
DC - 3 2 0 パソコン
インピーダンス測定中2回目
DC - 3 2 0 パソコン
インピーダンス測定中3回目
DC - 3 2 0 パソコン
インピーダンス測定中4回目
DC - 3 2 0 パソコン
インピーダンス測定中5回目
DC - 3 2 0 パソコン
インピーダンス測定中6回目
DC - 3 2 0 パソコン
インピーダンス(50kHz)確定
DC - 3 2 0
 パソコン
インピーダンス(6.25kHz)測定中1回目
DC - 3 2 0 パソコン
インピーダンス測定中2回目
DC - 3 2 0 パソコン
インピーダンス測定中3回目
DC - 3 2 0 パソコン
インピーダンス測定中4回目
DC - 3 2 0 パソコン
インピーダンス測定中5回目
DC - 3 2 0 パソコン
インピーダンス測定中6回目
DC - 3 2 0 パソコン
インピーダンス(6.25kHz)確定
DC - 3 2 0
 パソコン
結果出力
DC - 3 2 0 (測定結果) パソコン

パソコン Z 2 CR LF DC - 3 2 0
 ブザー 2 回発生
 DC - 3 2 0 @ CR LF パソコン
 パソコン P 1 CR LF DC - 3 2 0
 プリンタ印字要求受付
 DC - 3 2 0 @ CR LF パソコン
 プリンタ印字終了
 DC - 3 2 0 P 1 , 0 CR LF パソコン
 パソコン F 2 CR LF DC - 3 2 0
 測定台に荷重なし
 DC - 3 2 0 F 2 CR LF パソコン

DC - 3 2 0 の LCD が体重測定に切替わり、測定を行います。体重測定後、インピーダンス測定に切替わり、測定を行います。測定終了後は DC - 3 2 0 からパソコンへ、測定結果が出力されます。
 (5 . 3 「出力データ一覧」参照)

(8) 設定データのクリア

測定後、設定データはクリアされません。設定データをクリアするときは、M 1 コマンドを送ります。

パソコン **M 1** **CR** **LF** DC - 3 2 0
DC - 3 2 0 **@** **CR** **LF** パソコン

(9) 測定キャンセル

測定をキャンセルしたいときは、q コマンドを送ります。測定前の状態に戻ります。入力されたデータはクリアされません。

パソコン **q** **CR** **LF** DC - 3 2 0
DC - 3 2 0 **@** **CR** **LF** パソコン

(1 1) エラー

[体重計エラー]

DC - 3 2 0 **E 1** **CR** **LF** パソコン
体重計のオーバーロードです。測定台の荷重を取り除いてください。

DC - 3 2 0 **E 3** **CR** **LF** パソコン
ゼロ点の取得エラーです。測定台から荷重を取り除き、z1 コマンドが送られたのを確認してから、測定台にお乗りください。

[インピーダンス測定エラー]

DC - 3 2 0 **E 2** **CR** **LF** パソコン
インピーダンスの測定エラーです。設定内容を確認し、素足で測定してください。

[設定データ不足]

DC - 3 2 0 **E 4** **CR** **LF** パソコン
未入力データがあるまま、測定開始コマンド (G 0) が送られた場合のエラーです。通信手順 (1) からやり直してください。

注意点

各種設定コマンド (D コマンド) はどの順番で送信しても受け付けられます。
アスリートの設定をしても、年齢が 1 8 才未満であれば強制的にスタンダード設定に変更されます。